

# さくら市議会だより



2010. 2. 1  
〈平成22年〉

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL484-6177 FAX486-2508  
佐倉市ホームページ http://www.city.sakura.lg.jp メールアドレス gikai@city.sakura.lg.jp

## 志津霊園関連議案審査 特別委員会を設置

定例会会期中に、志津霊園墓地移転に係る「最終合意」に関連する3議案が追加提案され慎重に審査をするべきとして「志津霊園関連議案審査特別委員会」を設置しました。付託された議案と選出された委員は次のとおりです。

(◎委員長、○副委員長)

- 議案第33号 平成21年度佐倉市一般会計補正予算
- 議案第34号 和解について
- 議案第35号 訴訟提起前の和解（即決和解）について

- ◎小林右治 ○岡村芳樹 五十嵐智美 村田穰史
- 兒玉正直 藤崎良次 森野 正 川名部実
- 冨塚忠雄 檀谷正彦 桐生政広 白井尚夫



志津霊園を視察

定例会の最終日には小林右治委員長が審査結果報告を行い次の2点を要望しました。

一、志津霊園問題は、長年にわたる懸案事項であり、市長においては道路の早期開通に向け、責任をもって対処されたい。

一、当該事業を進めるにあたり、広く市民への説明と、情報開示に努められたい。

## 11月定例会

# 一般会計補正予算など 35議案を可決

11月定例会は、11月30日から12月21日までの22日間にわたり開催しました。

今定例会では、「佐倉市産業振興条例制定について」など議案35件、諮問1件が提出され、可決しました。請願・陳情については、「公契約条例制定を求める請願」など7件、議員発議については「議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」など12件を審議しました。

一般質問には、各会派の代表質問に7人、個人質問に14人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。

## 第4回 こども議会 開催



様々な質問をした小学生議員たち

11月10日（火）、こども議会が佐倉市議会本会議場で開催され、市内12小学校から22名の児童たちが議長、副議長、議員となり、議会の役割や地方行政の仕組みについて学習しました。

開会にあたり、蕨市長、櫻井市議会議長の挨拶があり、引き続き一般質問が行われました。

市議会議員や引率の先生が傍聴席で見守る中、小学生議員は生活や地域の身近な問題について幅広い分野にわたり質問を行いました。

これに対し、市長・部長・課長など執行部が答弁をし、本会議ながらのやりとりが行われました。

## 佐倉市議会“議会改革”について

〈議会改革特別委員会の活動報告〉

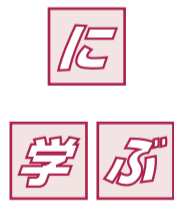
- 第8回委員会（H21.10.23） □第9回委員会（H21.11.20）

議会中継のあり方など議会における広報活動や、議員の行政視察について検討しました。また、議会改革に向けて、議員が研鑽を積むために、地方議会改革に造詣の深い廣瀬克哉氏（法政大学教授）をお招きし、研修会を開催することを決定しました。（1月13日開催済）

### 議会運営委員会 <21.11.4~5>

一関市及び奥州市において、議会基本条例をはじめとする議会運営全般について視察。両市とも、市町村合併を契機として基本条例を制定。今年度制定の奥州市では、一問一答方式の採用や執行部に反問権を認めるなど、一般質問の争点を明確化するとともに、民意の把握を目的とした市民懇談会を開催するなど、市民に開かれた議会運営を目指した条例が制定されていた。

### 先進事例



### 文教福祉常任委員会 <21.10.28~29>

①福井市では、「次世代育成支援対策推進行動計画」について視察。少子化対策を重要課題と位置づけ、子育て世代に対する経済的負担の軽減や子育て支援事業の充実に取り組んでいる。

②鯖江市では、「さばえ健康寿命いきいきプランII」について視察。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らせる、生きがいづくりへの支援や介護予防の推進等の充実に取り組んでいる。

### 総務常任委員会 <21.10.28~29>

①柏崎市においては、「市民に見やすいホームページ作り」と、また「震災復興への取組み方」については、現地視察も含め、市民生活に直接関係のある対応状況を視察。

②柏崎刈羽原子力発電所では、積極的な情報提供を行いながら安全を最優先とした運転再開を目指す原子力発電所の内部を視察。

### 建設常任委員会 <21.10.21~22>

①三島市では、「街中がせせらぎ事業」について視察。中心市街地にある歴史・文化・水や緑の自然環境等の資源を活用し、回遊ルートを整備することにより、魅力ある地域づくりをしている。

②掛川市では、「都市再生整備計画」の「緑の精神回廊」について視察。防災と美観の公共空間を兼ね備えた、緑あふれる歩道のネットワークであるこの回廊が賑わい創出の空間となっている。

### 経済環境常任委員会 <21.10.28~29>

①長岡市、「長岡まつり大花火大会」は、明治12年からの歴史があり、現在は長岡まつり協議会が実施。経費は企業からの協賛金、市民からの寄付金が多くを占める。「グリーン・ツーリズム」は、各地域の資源を掘り起こし、震災の体験を風化させない、特色を持った交流活動を実施。

②柏崎刈羽原子力発電所、地震にて停止時の安全性等を停止中の炉心部分の見学も含めて視察。

# 市政に関する

# 一般質問

一般質問は、市政全般にわたり議員が質問を行い、市政をより良い方向へ導くためのものです。8月定例会より、従来から行っている一括質問方式に加え、項目別質問方式を導入し、各議員の選択制としました。今定例会で行われました一般質問につきまして、その一部を掲載いたします。

詳細については、市役所2階市政資料室・市内各図書館にて会議録（2月中旬発行予定）の閲覧、または、佐倉市ホームページより会議録検索システム（2月配信予定）でご覧ください。

## 代表質問

### さくら清友会 小林右治

**地方分権社会に備える、事業仕分けによる行財政基盤の強化**

**問** これからは自治体の実力により、地方分権をこなせる自治体とできない自治体に分けられます。この度の国の事業仕分けは、国民の皆様に見え、ご理解を深めていただけたい事。非常にも収められた方法、この事業仕分けの方法は、もともと地方自治体を対象に7年前から行っている方法で、国の仕分け事業の事務局長として仕切られたのは、私も仲間に入れていただき会員として参加、学ばさせていただいている民間シンクタンクの構想日本の加藤秀樹氏です。佐倉市においても、市民の皆さんとともに情報を共有し、お知恵をかり、進まなければならぬと考えますが、市で実施中の市民に理解しにくい外部機関による評価ではなく、外部の視点と公開の場をもった現在脚光を浴びている事業仕分けができるかどうか、どのようなようにお考えか伺います。

**答** 市民委員会を含む行政評価の第三者機関である佐倉市行政評価懇話会において事業の優劣などご意見を頂戴し、また、ホームページに掲載し市民のご意見もいただいております。

**問** ゴミ袋問題、収集問題について

**答** 現在の佐倉市のゴミ袋の単価は他市の倍近く、その元凶は平成15年10月まで指定されていたフロック入り入りゴミ袋であり、その破れやすさ対策の厚さ、酸化鉄の色など、基準として現在の袋価格にも影響を残してあります。荏原の旋回流式流動床焼却炉では、平成12年から13年5月までに、国の14年度規制の0.1ナノグラムより一桁も二桁も小さいダイオキシン測定値が出ていたにもかかわらず、市はなぜ、市民に2億円も3億円も負担をかけるゴミ袋を指定袋にしたのか伺います。

**答** 市民や処理施設周辺の方々の不安を解消すべく、ダイオキシン低減対策として、搬入者側の姿勢、責任として検討、採用したものです。

**問** 志津霊園問題について

**答** 志津霊園問題は、本町地区の商店街に目を向け、利用を願いたい。また、産業振興策として、産業振興ビジョンの策定、関連する要綱整備とそれに伴う組織体制を整えていく。

## さくら会

志津霊園問題について

**問** 志津霊園問題について

**答** 志津霊園問題は、本町地区の商店街に目を向け、利用を願いたい。また、産業振興策として、産業振興ビジョンの策定、関連する要綱整備とそれに伴う組織体制を整えていく。

**問** 志津霊園問題について

**答** 志津霊園問題は、本町地区の商店街に目を向け、利用を願いたい。また、産業振興策として、産業振興ビジョンの策定、関連する要綱整備とそれに伴う組織体制を整えていく。

**問** 志津霊園問題について

**答** 志津霊園問題は、本町地区の商店街に目を向け、利用を願いたい。また、産業振興策として、産業振興ビジョンの策定、関連する要綱整備とそれに伴う組織体制を整えていく。

## 公明党

法に基づく事業の進捗状況について

**問** 法に基づく事業の進捗状況について

**答** 法に基づく事業の進捗状況について

**問** 法に基づく事業の進捗状況について

**答** 法に基づく事業の進捗状況について

**問** 法に基づく事業の進捗状況について

**答** 法に基づく事業の進捗状況について

## 市民ネットワーク

志津霊園問題について

**問** 志津霊園問題について

**答** 志津霊園問題は、本町地区の商店街に目を向け、利用を願いたい。また、産業振興策として、産業振興ビジョンの策定、関連する要綱整備とそれに伴う組織体制を整えていく。

## 新社会党

ハツ場ダム事業における佐倉市の考え方について

**問** ハツ場ダム事業における佐倉市の考え方について

**答** ハツ場ダム事業における佐倉市の考え方について

**問** ハツ場ダム事業における佐倉市の考え方について

**答** ハツ場ダム事業における佐倉市の考え方について

## 日本共産党

市長の政治姿勢について

**問** 市長の政治姿勢について

**答** 市長の政治姿勢について

**問** 市長の政治姿勢について

**答** 市長の政治姿勢について

**問** 市長の政治姿勢について

**答** 市長の政治姿勢について

## 佐倉市民オンブズマン

黒塗り公用車の運用について

**問** 黒塗り公用車の運用について

**答** 黒塗り公用車の運用について

**問** 黒塗り公用車の運用について

**答** 黒塗り公用車の運用について

**問** 黒塗り公用車の運用について

**答** 黒塗り公用車の運用について

**問** 黒塗り公用車の運用について

**答** 黒塗り公用車の運用について

**用語解説**

※【バリアフリー新法】公共交通機関や駅などの旅客施設を中心にバリアフリー化を進める「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」と建築物のバリアフリー化を進める「高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律」を統合・拡充した新しい法律。



# 11月定例会の議案と議決結果 (議決 12月21日)

※議案9・10・11、発議1は11月30日に議決

・右欄は本会議の議決結果 ○全員賛成、○賛成多数、△賛成少数

## 市長提出議案 ※丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号

①平成21年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ7011万円を追加。「国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を充当して行う事業に係る予算であり、10月の臨時議会で議決した同交付金充当事業に新たな事業を追加し、あわせて実施するもの。歳入の内容は、国庫支出金(地域活性化・経済危機対策臨時交付金)及び財政調整基金繰入金金の増。 歳出の内容は、南志津保育園の外壁改修など。その他繰越明許費の補正。地域活性化・経済危機対策臨時交付金を充当する事業のため、議案第2号の一般会計補正予算とは別に調製。	原案可決	○
②平成21年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ2億9478万3千円を追加。既定予算と議案第1号の補正予算を合わせた予算総額は392億7747万8千円。歳入の内容は、国の補正予算執行停止に伴う平成21年度子育て応援特別手当交付金の減など。歳出の内容は、平成21年度子育て応援特別手当支給経費の減額、新型インフルエンザのワクチン接種に対する助成金の増など。その他繰越明許費の補正、債務負担行為補正、地方債補正。	原案可決	○
③平成21年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ6億2303万6000円を追加。歳入の内容は一般被保険者療養給付費の増、退職被保険者等療養給付費の減。	原案可決	○
④平成21年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ190万6000円を追加。歳入の内容は、確定申告に伴う消費税の増。	原案可決	○
⑤平成21年度佐倉市農業集落排水事業特別会計補正予算 平成22年4月当初から実施する業務について債務負担行為を設定するもの。	原案可決	◎
⑥平成21年度佐倉市介護保険特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ510万円を追加。歳入の内容は人件費の増。	原案可決	○
⑦平成21年度佐倉市後期高齢者医療特別会計補正予算 歳入歳出それぞれ1314万4000円を追加。歳入の内容は、千葉県後期高齢者医療広域連合に納付する保険料納付金の増。	原案可決	○
⑧平成21年度佐倉市水道事業会計補正予算 平成22年4月当初から実施する業務について債務負担行為を設定するもの。	原案可決	◎
⑨特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について 平成21年12月に支給する一般職の職員の期末手当及び勤労手当が引下げとなることなどに伴い、特別職(市長・副市長・水道事業管理者)の職員の期末手当についても同様の措置を講ずるもの。	原案可決	○
⑩教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について 平成21年12月に支給する一般職の職員の期末手当及び勤労手当が引下げとなることなどに伴い、教育長の期末手当についても同様の措置を講ずるもの。	原案可決	○
⑪一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について 平成21年12月1日から給料表及び12月期末・勤労手当を引き下げ、さらに平成21年4月から11月までの給与の官民格差の調整分として12月期末手当から減額するほか、平成22年度から住居手当及び6月期末・勤労手当を引き下げようとするもの。	原案可決	○
⑫佐倉市産業振興条例制定について 佐倉市の経済の健全な発展と市民生活の向上を目的とした産業基盤の安定及び強化、企業立地の促進、中小企業の競争力強化、雇用機会創出等の施策を推進していくに当たり、産業振興を図るための基本的な方針等を定めようとするもの。	原案可決	○
⑬佐倉市道路線の認定について 開発行為に伴い山崎地先の一路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑭佐倉市道路線の認定について 開発行為に伴い石川地先の二路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	◎
⑮佐倉市道路線の認定について 開発行為に伴い臼井台地先の一路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑯佐倉市道路線の認定について 開発行為に伴い臼井田地先から臼井地先までの一路線を佐倉市道として認定するもの。	原案可決	○
⑰佐倉市道路線の変更について 開発行為に伴い大崎台一丁目地先から六崎地先までの一路線の終点を変更するもの。	原案可決	◎
⑱佐倉市道路線の変更について 都市計画道路井野酒々井線(1-32号線)の整備による道路の付け替えに伴い、生谷地先の一路線の終点を変更するもの。	原案可決	◎
⑲字の区域及び名称の変更について 井野東土地区画整理事業の施行に伴い、井野・青菅・宮ノ台三丁目・宮ノ台四丁目・宮ノ台五丁目・ユウカリが丘七丁目の各一部について、字の名称を「西ユウカリが丘一丁目から西ユウカリが丘五丁目まで」及び「宮ノ台六丁目」とし、既存の区域を変更するもの	原案可決	◎
⑳佐倉市男女平等参画推進センターの指定管理者の指定について 指定管理者である特定非営利活動法人ミウス1号の指定期間を平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間、再度指定するもの。	原案可決	○

㉑佐倉市老人憩の家うすい荘の指定管理者の指定について 指定管理者である臼井四町会の指定期間を平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間、再度指定するもの。	原案可決	○
㉒佐倉市老人憩の家千代田荘の指定管理者の指定について 指定管理者である千代田地区社会福祉協議会の指定期間を平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間、再度指定しようとするもの。	原案可決	○
㉓佐倉市老人憩の家志津荘の指定管理者の指定について 指定管理者である志津南地区社会福祉協議会の指定期間を平成22年4月1日から平成25年3月31日までの3年間、再度指定しようとするもの。	原案可決	○
㉔佐倉市心身障害者福祉作業所南部よもぎの園の指定管理者の指定について 指定管理者である社会福祉法人千手会の指定期間を平成22年4月1日から平成28年3月31日までの6年間、再度指定しようとするもの。	原案可決	○
㉕佐倉市ヤングプラザの指定管理者の指定について 指定管理者であるワーカーズコープの指定期間を平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間、再度指定しようとするもの。	原案可決	○
㉖個人情報保護委員の委嘱について 眞正豊和(かくしょう・とよかず)氏に再度委嘱するもの。	同意	◎
㉗個人情報保護委員の委嘱について 近藤一夫(こんどう・かずお)氏に再度委嘱するもの。	同意	◎
㉘個人情報保護委員の委嘱について 関谷昇(せきや・のぼる)氏に再度委嘱するもの。	同意	◎
㉙平成21年度佐倉市立小中学校校務用パーソナルコンピュータ購入契約について 2096万7450円をもって株式会社大崎コンピュータエンジニアリングと契約を締結するもの。	原案可決	○
㊀平成21年度佐倉市立小中学校電子黒板の購入契約について 1206万1245円をもってリコー販売株式会社千葉支社公共文教営業部と契約を締結するもの。	原案可決	○
㊁佐倉市立小中学校理科教材備品購入契約について 2998万2435円をもって有限会社タキグチ佐倉支店と契約を締結するもの。	原案可決	○
㊂平成21年度地上デジタル放送対応テレビの購入契約について 1805万886円をもって株式会社コジマ佐倉店と契約を締結するもの。	原案可決	○
㊃平成21年度佐倉市一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ2億3千万円を増額。歳入の内容は、勝田台・長熊線基金繰入金で、その全額を歳入に充当。歳入の内容は、本昌寺墓地移転代替地に係る造成工事費相当額のうち前払金相当額として2億円、本昌寺墓地使用者に対する補償費の本年度支出見込額として3千万円を計上。債務負担行為の補正は、志津霊園(本昌寺)墓地移転に係る移転代替地造成工事費相当額及び本昌寺分移転補償費、並びに、志津霊園(本昌寺)墓地移転に係る墓地使用者分移転補償費の2件を追加するもの。	原案可決	○
㊄和解について 本昌寺との間で、墓地移転に関する最終合意事項が固まったことから、和解契約として、本昌寺と最終合意書を締結するもの。	原案可決	○
㊅訴訟提起前の和解(即決和解)について 民事訴訟法第275条第1項の規定による申立てを行い、最終合意書の趣旨に沿った和解をしようとするもの。	原案可決	○
㊆人権擁護委員候補者の推薦について 長谷川大美(はせがわ・ひろみ)氏の任期満了に伴い、その後任の候補者として、今川哲夫(いまがわ・てつお)氏を推薦するもの。	同意	◎

## 請願・陳情 ※丸数字は請願番号、白抜き数字は陳情番号

㊇公契約条例制定を求める請願	採択	○
㊈食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める請願	採択	◎
㊉「国における平成二十二(二〇一〇)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択	◎
㊊「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択を求める請願	採択	◎
㊋ボランティア団体が集える拠点作りの件に関する陳情	不採択	△
㊌佐倉市民ボランティア活動者に対する・ポイント制度作りの陳情	不採択	△
㊍議会基本条例の制定に関する陳情	不採択	△

## 議員発議 ※丸数字は発議案番号

①議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	◎
②食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書	原案可決	◎
③国における平成二十二(二〇一〇)年度教育予算拡充に関する意見書	原案可決	◎
④義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書	原案可決	◎
⑤衆議院議員比例代表定数削減反対の意見書	否決	△
⑥日米間におけるFTA(自由貿易協定)に関する意見書	原案可決	○
⑦「障害者自立支援法」の廃止および「障害者権利条約」の理念に基づく新法制定を求める意見書	原案可決	○
⑧民法(家族法)改正の早期実現を求める意見書	原案可決	○
⑨生存権保障水準を底上げする「新たなセーフティネット」の制度構築を求める意見書	原案可決	○
⑩地下水採取に関して千葉県環境保全条例の見直しを求める意見書	原案可決	○
⑪普天間基地の即時閉鎖と速やかな撤去を求める意見書	原案可決	○
⑫プルサーマル発電の中止とエネルギー政策の見直しを求める意見書	否決	△

**議会百景**

政府はムダを削ることを旗印に事業分けを公開し、税金の使い方に国民の関心を集めました。何をムダと考え、何のためにムダを削るのか。市政も影響を受けています。必要な予算をばっさり切つて、無き予算が見えなくなると困ります。きびしさを増す市民の暮らしを支えるために税金が使われるよう、議会の役割を果たしたいと思えます。

(議会報編集委員 萩原陽子)

議員は市民の多様な意見を市政に反映させるために議会で発言をしています。その動きや議決結果を「さくら市議会だより」に載せています。読みごころは如何ですか。分かりやすい、読みやすい議会報をめざして他市との比較や掲載項目の検討を重ねています。紙面を通して議会の情報公開と説明責任の一端を担い、議会活動の周知に努めてまいります。

(議会報編集委員会座長 勝田治子)

2月定例会は2月22日(月)から3月24日(水)の予定です。会期日程につきましては2月16日(火)以降に佐倉市議会のホームページでお知らせいたします。

**佐倉市のホームページ**  
<http://www.city.sakura.chiba.jp> から  
**市議会** をクリックしてください